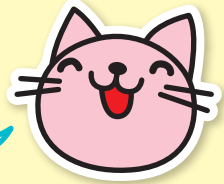




福島原発事故で子どもたちの被ばく線量はどのようになっているの？

福島県では、原発事故が起きた年(2011年度)から市町村によって、子どもや妊婦を中心として個人線量計(ガラス線量計など)で被ばく線量を把握してるんだ。



個人線量計による外部被ばく線量測定結果 (2012年度)

(出典)復興庁「放射線リスクに関する基礎的情報」より

	測定期間	対象	測定数	年間個人線量(平均)[ミリシーベルト]※1
浜通り	2012年7月～9月	乳幼児から中学生・妊婦	4,135	0.4
	2012年6月～8月	18歳以下、妊婦の希望者(県内居住)	3,265	0.7
	2012年9月～11月	18歳以下、妊婦の希望者(県内居住)	3,225	0.7
	2012年9月～11月	中学生以下	439	0.1
中通り	2012年11月～2013年1月	中学生以下	16,223	0.6
	2012年5月～7月	未就学児童	7,847	1.0
	2012年7月～9月	未就学児童	11,450	0.7
	2012年9月～11月	未就学児童	11,429	0.6
会津地方	2012年7月～9月	中学生以下	4,781	0.2
	2012年6月～9月	中学生以下、妊婦	745	0.1
	2012年9月～12月	中学生以下、妊婦、一般希望者	1,306	0.1

※1：測定値を単純に年換算。バックグラウンドは除く。

2013年度の測定結果では、年間個人線量の最大値は1.2mSvだったよ。平均では0.11mSvだね。

福島市では、中学生以下の子どもたちを対象に平成25年9月～平成25年11月までの測定結果で、10,100人のうち、99%の人が0.5mSv未満だったんだよ。

ミリシーベルト	人数(人)	割合(%)
0.1未満	2,275	22.5
0.1以上0.5未満	7,759	76.8
0.5以上1.0未満	63	0.6
1.0以上1.5未満	3	0.03
1.5以上	0	0
合計(3ヶ月間測定者数)	10,100	100

(出典)福島市役所HPより

福島市健康管理検討委員会というところで、測定結果を検討して「将来、放射線によるガンの増加などの可能性は少ない」と判断したんだ。

